

ジョリパット650シリーズ
乱流仕上げ
施工の手引き

平成12年7月作成

アイカ工業株式会社

化成品開発第二部

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジヨリパットシーラー JS-410	塩化ゴム系 1液型溶剤透明シーラー	15kg石油缶	75~100㎡/缶
主 材	ジヨリパット650シリーズ 標準色 JP-650 JP-650T (...数字) 特注色 JP-650 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約7㎡/缶

< 主な施工道具 >

- ・ 金ゴテ

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ（平滑）として下さい。

<乱流仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ジョリパットを無希釈で1.0kg / m²となるよう
金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JP-650シリーズ	20kg
塗 布 量	約2.0 kg / m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて、材料を均一に配る。	

追いかけ(5分以内)

4. パターン付け

・金ゴテで楕円を描くようコテ動かし、ジョリパットの
表面を引きずるようにして模様をつける。
(図-1)

<施工のポイント>

- ・ 金ゴテのエッジを立てず、コテの裏面全体でジョリパットの表面を引っ張るようにして楕円状に模様をつける。
(図 - 1)

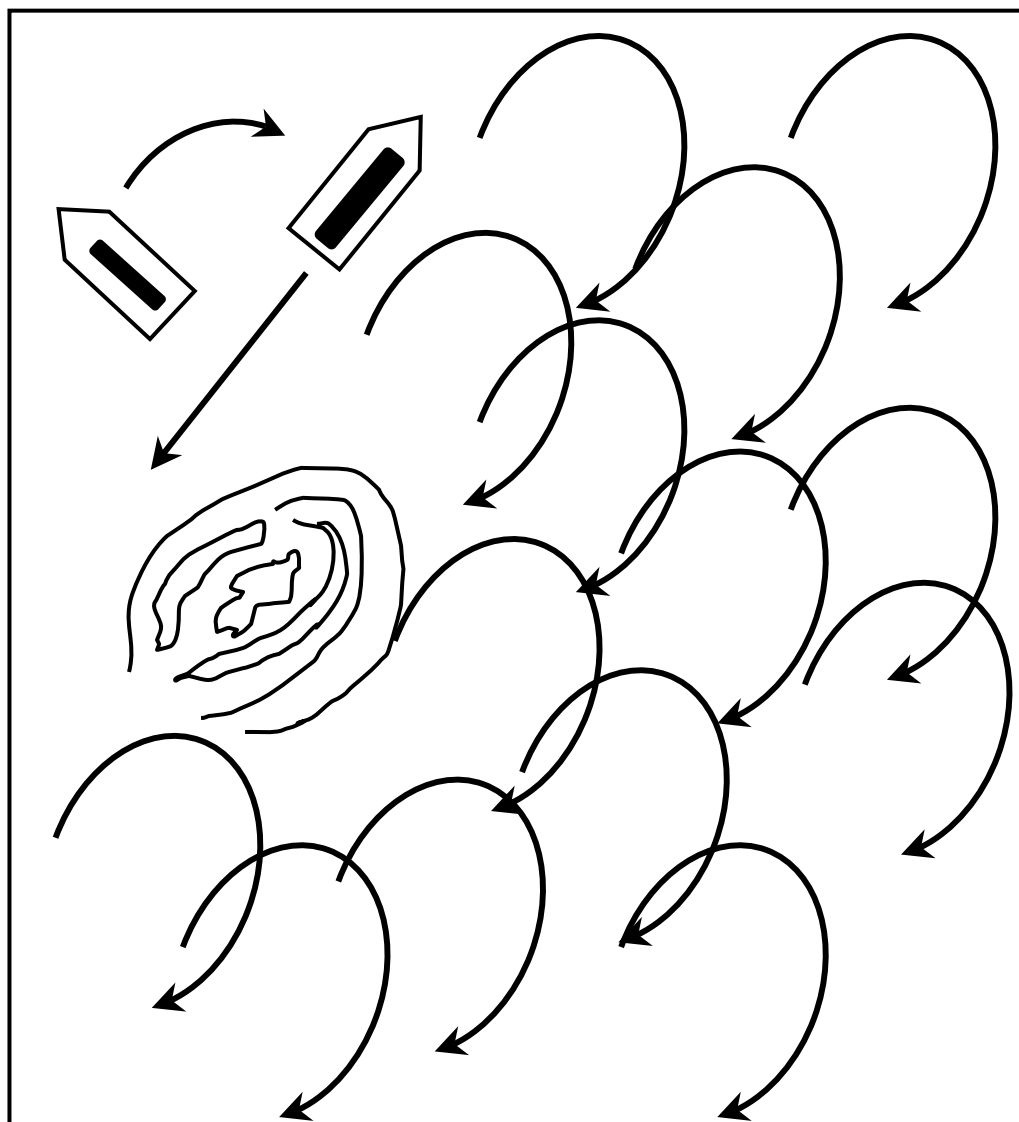
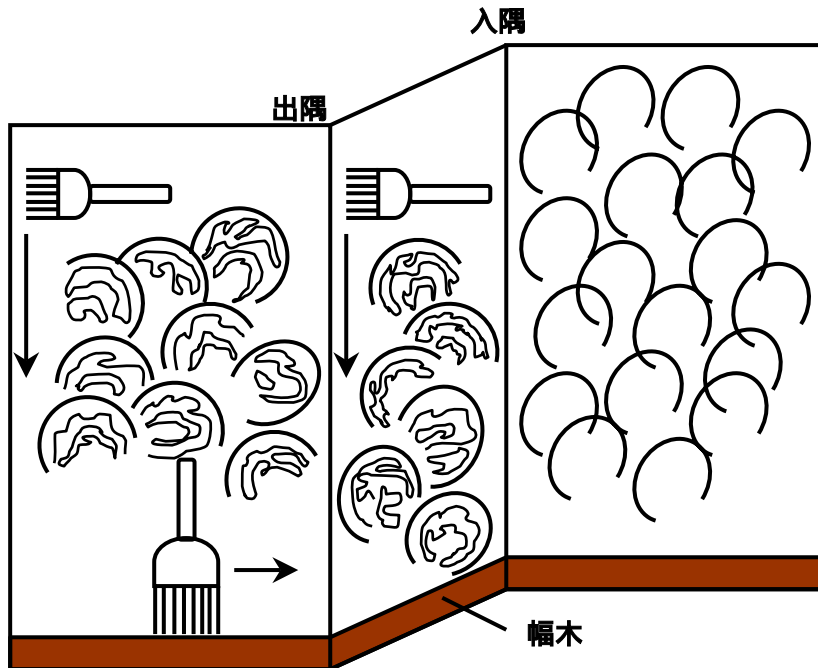


図 - 1

- ・ 金ゴテを から の順に動かし、パターンを付ける。 の方向にコテを抜くと、コテ切れが良い。

入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図 - 2）

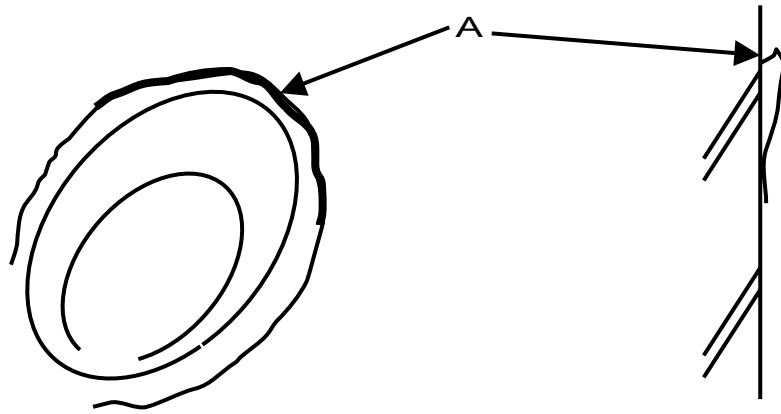


刷毛で押さえる工法

図 2

< 施工の注意事項 >

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
（特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 天候、風等の条件によっては、極端なパターンの段差部分にヘアクラックが発生する場合があります。あまり、極端なパターンの段差をつけないよう注意して下さい。（図 - 3）



☒ - 3

以 上